

高原野菜が全国へ！



原村野菜集荷所開きが5月26日に原村セルリー集荷所で行われました。

コロナ禍の3年間は規模を縮小して開催していましたが、今年はコロナ禍前の規模に戻して開催されました。生産農家や農協職員、行政職員、市場関係者、輸送業者など、大勢の関係者が出席し、関係者の挨拶のほか、市場の動向などが説明されました。

原村保育園 祖父母参観
おじいちゃん、おばあちゃんと！

5月26日に原村保育園で祖父母参観が行われ、年長クラスの園児と園児の祖父母が交流しました。交流はクラスと一緒に工作を楽しんだり、園庭で玉入れを行ったりするなど、子どもの保育園生活の様子を見ることができるとなりました。

参加した方からは、「家とは違った様子が見られた。家では元気いっぱいだけど、保育園では落ち着いた様子で、びっくり。」と語りました。

原消防署見学「ピーポーがなったよ！」



5月17日に第2回あひるクラブが行われ、就園前の子どもとその保護者16組が参加しました。参加者は、原消防署で消防車や救急車の乗車体験や、消防士の服を着たりするなど、消防署の見学を楽しみました。

参加した子どもたちは、救急車のサイレンが鳴らされると「ピーポーがなったよ！」と声をあげて喜んでいました。

力走！ 市町村対抗小学生駅伝



第18回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会が、4月29日に松本平広域公園やまびこドームで開催されました。原村は、総合13位、村の部第2位、タイム17分19秒でした。

原村の小学生選手が大いに活躍し、他市町村の有力な選手にも負けないように懸命な走りをして、好成績を収めることができました。天候にも恵まれ、ケガもなく無事に終了しました。

自衛官募集相談員委嘱式



5月30日に村長室で自衛官募集相談員委嘱式が行われました。

「自衛官募集相談員」は、自衛官を志す方に関する情報の提供や、自衛隊地方協力本部が行う、募集のための広報活動の援助などを行います。委嘱されたのは、篠原錦一さん(再任)、佐藤計行さん(再任)、小松志穂さん(新規)の3名で、篠原さんは「小松さんが新しく加わり、3人で募集相談員をやっています。相談しやすく、自衛隊の情報も住民に伝えていくことができたら。」と挨拶しました。

パパとママのリフレッシュ教室
～骨盤・からだの歪みを整える～

5月27日に子育て支援センター「はらっば」でパパとママのリフレッシュ教室が行われました。参加者は子育てサロンのスペースに子どもを預かってもらい、はじめに骨盤のゆがみを確認したあと、ゆがみを整えるストレッチなどを行いました。

ストレッチをした後、参加者からは「子どもを同じ腕ばかりで抱きかかえていると、歪んでしまうのかな。短い時間でも、ストレッチなどを行ったあとは骨盤の歪みが整うのがわかった。これからは時間をみつけて続けていきたい。」という声が聞かれました。

「再読」の面白さを語る



5月18日、原村中央公民館で高村志保さん(今井書店)を講師に招いた講演会、「第1回はらむら塾～物語という人生を生きる～」が開催されました。

講演会で高村さんは本の紹介や読み聞かせを行い、「本を再読する面白さを知ってほしい。そのときは分からなくても、時間が経って読み返したときに、座右の銘になるような本もある。」と話しました。参加者は、紹介された本のタイトルをメモしたりするなど、高村さんの話に興味をもちました。

受賞報告



5月17日、村長室で長野県文化財保護協会から「令和5年度文化財保護功労者(団体)表彰」の受賞報告が行われました。

報告に訪れたのは八ッ手機織り保存会の会長・秋山慶明さんと阿部かず枝さんで、秋山さんは「コロナ禍で中止にしてきたが、今年は3月に展示会を行いたい。」と話しました。また、村の文化財係職員の平林とし美さんは、後継者不足が今後の課題であるとし、地域おこし協力隊と協力して活性化につなげたいと話しました。